

道徳的価値について広い視点を持ち、 自分の考えを深める児童の育成 —児童相互の多様な意見を引き出し、他者理解を深める活動を通して—

特別研修員 道徳 茂木潤平（小学校教諭）

児童の実態

- ・自分の考えを發表するのがって苦手だな
- ・友達と同じことを言っとけばいいか
- ・意見交流って苦手なんだよなあ

教師の願い

- ・もっと考えを發表してほしいなあ
- ・意見を広げたいし、深めたいなあ
- ・意見のやりとりがあれば…

授業実践「銀のしょく台」 小学校5・6年
(内容項目2-(4)謙虚に、広い心をもって)

手立てⅠ 付箋紙を用いた 意見の視覚化

自分の意見と
似ているな



- ・自分の意見を付箋紙に表現
- ・意見發表しながら付箋紙を貼付
- ・多様な意見との出会い

なるほど！
そういう考え
もあるんだね

いろいろな意見
があることが
よく分かる
なあ

手立てⅡ 意見の分類や 比較・検討

意見を聞いたり、
比べたりすると、
同じ点や違う点
が分かるなあ



- ・自分の考えの説明や友達の意見
に対する児童同士のやりとりを
通じた人間理解や他者理解

こことこの意見は似ているから、
ここでのキーワードは〇〇だと思
います。

分類され、視覚化された意見を
基に、説明したり質問したりし
たことを踏まえ、自分の考えを
再構成



私は最初、「ジャンはお金がなくてかわいそう」という考えでした。でも、①貧しい②役立てる③捕まったらかわいそうなど、いろいろな考えが分かり、「銀のしょく台が、ジャンの生活に役立つのではないか」と思うようになりました。

成果

- ・多様な意見に気付く
⇒付箋紙で意見を視覚化することで、自分以外の意見を知ることができた。
- ・自分の考えを深める
⇒付箋紙の意見を基に、意見の分類や比較・検討を行うことで、自分の考えを深めることができた。

課題

- ・児童の意見を適切に分類する
⇒道徳的価値の理解に関して分類を適切に行い、どのように捉えるかを明確にしておく必要がある。
- ・友達の意見について深く考える
⇒音声や視覚で理解した意見に対して、疑問や質問を表明できるように、児童同士の意見をつなぐ必要がある。